

# 奥州市議会全員協議会 会議録

【日 時】 令和2年12月25日（金） 10:45～12:30

【場 所】 7階 委員会室

【出席議員】（26名）

小野寺隆夫 佐藤郁夫 小野優 及川春樹 千葉和彦 高橋晋 小野寺満 高橋浩  
千葉康弘 瀬川貞清 千葉敦 廣野富男 及川佐 菅原圭子 菅原由和 飯坂一也  
高橋政一 加藤清 阿部加代子 中西秀俊 菅原明 小野寺重 藤田慶則 今野裕文  
渡辺忠 及川善男

【欠席議員】（0名）

【出席者】 小沢市長、及川副議長、新田副市長、千葉総務企画部長  
小野寺市民環境部長、鈴木農林部長、佐賀福祉部長、渡辺都市整備部長  
千葉教育部長、門脇危機管理課長、小岩農政課長、高橋福祉部長  
千葉維持管理課長  
浦川協働まちづくり部長、岩淵生涯学習スポーツ課長、二階堂政策企画課長  
岩淵生涯学習スポーツ課課長補佐  
千田財務部長、羽藤財政課長  
瀬川議会事務局長、高橋議会事務局次長、千田議会事務局議事調査係長

【次 第】

## 1 開 会

2 挨 拶

### 3 協 議

(1) 說明事項

令和2年12月14日以降の大雪に伴う影響について  
令和2年土奥州市成人式の開催方式の変更について  
過疎法見直しの影響について

#### 4 その他

5 閉 会

## 【概 要】

1 開会

(佐藤郁夫副議長) 大変ご苦勞様です。ただいまから全員協議会を開会いたします。議長より挨拶をいただきまして、協議事項以下、議長が進めますのでよろしくお願い申し上げます。

2 挨拶

(小野寺議長) 本会議に引き続きの全員協議会でございます。大変ご苦労様でございます。またこのところの大雪で皆さん方も大変ご苦労されてきたと思いますけれども、特に、当局の皆さんは、この大雪に対応した方々、大変ご苦労様でございます。心から敬意、感謝を申し上げますが、また、さらには大晦日あたりにも大寒波が訪れるということでございます。引き続き、注意しながら生活をしていきたいなというふうに思っております。それでは市長からご挨拶を

お願いします。

(小沢市長) 先ほどの臨時議会におきましてはご提案申し上げました補正予算をご議決いただきまして、誠にありがとうございます。さて、小野寺議長からもありましたけども、大雪で大変苦慮しているというのが実情でございます。一昨日でありますけれども、実は地震であるとか、大雨であるとかというふうな自然災害に対しての対策本部、そういうふうな災対本部、或いはその対応本部のような設置要綱は、すでに万全と整備をしてあるわけではありますが、大雪に対する部分が実はなかったということで、急遽、その対策会議を、レベル的には大きな災害があった時の参集範囲で確認をしながら、開催をしているところであります。

やろうとしていることは、後程ご報告を申し上げますけれども、まず情報収集をすること。それから、支障のある箇所を洗い出し、できるだけその支障を早めに除去するということ。それから、一昨日の夜頃から、昨日夜も含めて、気温がこの通り上がってきたということで、どのくらいと言えいいんでしょうか、60センチから1メートルぐらいの範囲で市内の屋根に雪が積もっているという、この屋根の上の落雪によって、けが人が発生しているということも耳にしているところであります。特に、重量が大きな落雪が頭上に落ちれば、人命にも関わるようなことであるということで、地元紙にも注意喚起の記事などが掲載されているということでございますけれども、そのような事態を少しでも軽減したいということ。それから、年末にかけて、また寒波が訪れるということとすると、今、路上に残っている雪を一定の数で排雪をしないと、除雪する場所がなくなっているというような、二重にも三重にも対応しなければならないことというのがあるというのが実態であります。できる範囲は限られているわけですが、できるだけ効率を上げながら対応して参りたいというふうに考えているところでございます。

昨年の小雪と今年の大雪、足し2で割ればよかったのになんて内心思っているところでありますが、そのようなことを言ってもしょうがないということでもありますので、できるだけ万全を期して参りたいと思いますし、議員各位から、日常の生活において、気になるような点があれば、都市整備、或いは危機管理課の方にお知らせをいただければというふうに思います。

さて、本日は3件にわたってお話をさせていただきたいというふうに思います。特に3番目の過疎法の見直しについては、昨日、私と担当課長である二階堂課長、それから阿部加代子議員にもご足労願いながら、東京日帰りをして参りました。約20人の国会議員に回りながら、何とか奥州市の一部過疎がこのままなくなるようなことがないように、特段のご配慮をして欲しいというお願いをしてきたところでございます。

現状においては、与党案がほぼ固まりつつあるという状況でありまして、予断を許されないような状況でありますけれども、いずれ、できる限り財政計画に大きな影を落とさないような対応がなされるべく、努力をして参りたいと考えているところでございます。

限られた時間ではありますが、議員各位からの積極的なご発言を心からご期待申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。

### 3 協議

#### (1) 説明事項

(小野寺議長) それでは早速協議に入りたいと思います。(1)説明事項、の令和2年12月14日以降の大雪に伴う影響について、当局から説明をお願いいたします。小野寺市民環境部長。

(小野寺市民環境部長) それでは、先週の初めから降り続きました大雪、そして低温が続く中、それに伴います被害等、そうした影響につきまして、当部の危機管理課におきまして、その状況を取りまとめましたので、お手元の資料に基づきまして、担当より説明させていただきます。

(小野寺議長) 門脇危機管理課長。

(門脇危機管理課長) 危機管理課の門脇でございます。まず、資料の説明をする前に、資料の配信が遅れたことをお詫び申し上げます。それでは、資料に基づきましてご説明いたします。

令和2年12月14日以降の大雪の大雪に伴う影響についてということで、12月14日未明から岩手県南部を中心に降雪が続き、大雪警報等の発表はなかったものの、断続的に大雪注意報等が

発表されました。12月23日、水曜日現在の状況は以下の通りとなります。

まず1番目、気象状況についてでございます。県の県土整備部道路環境課の資料に基づきまして表を作成してございます。まず、アメダスの気温、最高気温、最低気温はご覧の通りでございます。降雪、積雪の状況でございます。まず、水沢の大手町につきましては、降雪が最大だったのが12月16日で25センチ。累積の積雪量は、12月20日の52センチが最大でございます。続きまして江刺でございますが、場所的にはおそらく玉里付近だというふうに地図上からは想定されますけれども、降雪の最大が12月16日の21センチ、それから積雪の最大は12月18日の43センチでございました。次に衣川ですが、これも地図上ですと、おそらく古戸付近と思われます。降雪の最大は一応12月17日の27センチ、それから積雪量が最大で12月20日の68センチでございました。

続きまして2番、被害等の状況でございます。市内の交通事故件数、12月14日から23日現在の概数でございます。警察署からの情報によりますと、226件ございました。なお、昨年同期では66件ということでございました。

続きまして(2)、消防本部出動状況の概要でございます。23日14時現在ですが、救急搬送は、全部で14件。内容につきましては、屋根からの落下と落雪によるけが。それから転倒によるけがということで、高齢者の方1名が重症ということでございます。続きまして、救助ですが、1件、雪に埋もれたということの通報でしたが、付近の住民の方より救出済みということでございました。それから、油の流出事故が1件ございました。

続きまして、2ページをご覧ください。(3)番のライフラインでございますが、まずは電気ですけれども、停電が12月16日以降の資料しか拾えませんでしたけれども、全体で延べ約2,760戸の停電で、市内各地で発生してございました。特に、12月19日から20日にかけての江刺の稲瀬、広瀬地区の約100戸につきましては、およそ13時間に渡っての停電ということでございます。

続きまして断水の状況でございます。江刺と衣川で各1件、原因は、倒木の影響の停電でポンプが停止したことによります。ただ、いずれもすでに解消してございます。

続きまして(4)、農業施設関係でございます。これも23日までの情報でございますけれども、ビニールハウスが113件、格納庫が20件、機械が4件、その他が6件で、合計143件でございます。なお、岩手ふるさと農協さんは、雪害対策本部を設置しまして、それによる調査ということですし、江刺農協さんは、農家からの報告による件数ということのようでございます。

続きまして3ページをご覧ください。(5)公共施設関係です。市が管理しております施設の被害状況についてご説明いたします。まず、小中学校です。全部で14施設ということで、主に江刺一中の体育館の窓ガラスの破損、或いはその他雨樋と樹木の枝折れ等の被害が発生してございます。次に、コミュニティ施設関連でございますが、3件ということで、胆沢愛宕地区センターのトレーニングセンターの窓の破損と前沢地区センターの樹木の破損等でございます。

次、産業系施設3件でございますが、これは、ひめかゆの軒先の被害、それから藤原の郷で藤棚の倒壊、雨樋の破損、それからレストハウスの雪止めの落下等が発生してございます。続きまして、幼保・こども園関係でございますが、みなみ保育園、前沢保育所、梁川保育所でそれぞれ被害がございました。みなみ保育所は、倉庫の戸が閉まらなくなった、雪が中に入ってくる等の被害。それから、前沢保育所は、物置小屋の倒壊。それから、梁川保育所は、雨樋の破損というような状況でございます。

続きまして幼児・児童施設2件でございますが、真城放課後児童クラブと岩谷堂放課後児童クラブの2件で、それぞれ雨樋等の破損でございます。

次に、医療施設が3件。水沢病院の院内保育所の屋根の破損、それから、同じく水沢病院の渡り廊下の屋根の破損等でございます。

続きまして庁舎が3件。1件は、本庁舎のうば杉の枝折れ。それから、衣川総合支所の南側及び北側の屋根の雪止めと雨樋の破損がございました。続きまして、消防屯所でございますが、江刺愛宕の屯所で雨樋の破損が発生してございますが、特段支障はございません。

それから消防施設でございます。2件ですが、1件は防火水槽の採水口といいますが防火水



槽、一部の仕様のものは上部に消火栓のようなものが設置しているものがございます。その消火栓のようなものが、除雪している方があるのに気づかずに機械で押してしまって破損したというのですが、特段、火災等への影響はないということでございます。もう1件は、消火栓の破損、これも除雪中の破損でございますが、すでにこれは対応済み、修繕済みでございます。

続きまして、公園関係が17件ということで、水沢公園、或いは見分森公園等のほとんどが、倒木、それから水道管の凍結、それから電話線の切断等の被害が発生してございます。

次に、歴史的建造物でございますが、市の天然記念物の日高神社の杉の枝折れ。2本ありますが、どちらも枝に被害があるということでございます。それから、高野長英記念館の松の枝折れ。国指定重要文化財の旧高橋家住宅、同じく旧後藤家住宅、それぞれ樹木の枝折れや電話線の断線等々が発生してございます。

それから、その他10件でございますが、市の光ケーブルの被害なり、樹木への干渉ということで、光ケーブル関係が5件。そのほかにリサイクル収集場所の休止等々で10件ということで、合計で70件、公共施設については被害等が発生してございます。

続きまして4ページをご覧ください。3番の除雪の状況でございます。後ほど、担当の方からも補足説明があるかと思いますが、受託業者57社、除雪機械229台、路線数3,872本で、延長2,466キロメートルの除雪を行ってございます。

それから4番、除雪要望・苦情受付件数でございますが、23日現在で除雪が843件、融雪剤12件等々で、合計1,014件という内容でございます。

それから5番、その他でございます。福祉部の方への問い合わせでございますが、障がい者、高齢者、生活保護世帯等からの除排雪に関する問い合わせが23件、その他要望等が3件寄せられてございます。

なお、資料にはございませんが、先ほど冒頭市長からもお話ありましたように、これらの状況の情報共有ということで、12月23日に奥州市大雪対策連絡会議を開催しまして、情報共有を図っているところでございます。以上でございます。

(小野寺議長) 鈴木農林部長。

(鈴木農林部長) 農林部の方から、もう少し詳しくご説明をしたいと思います。ただ、農協さんと或いは共済さん等と連携を取りながらやっているわけでございますけれども、現場になかなか行けない状況でございまして、特にもう道路事情、それから道路からまた歩かなきゃいかなくていう、そういうところもありますので、いずれ順次、今現在の情報が入ってきている状況でございます。農協さんによりますと、全部回るのが大変ということで、ふるさと農協さんにつきましては、実行組合長さんに文書をお上げして、それで報告いただく方法で漏れなくやりたいという報告も受けてございますので、ちょっと時間はかかりますけれども、正確な情報を収集したいというふうに考えてございます。それで担当の方から詳しく、その辺を説明させていただきたいというふうに思います。以上でございます。

(小野寺議長) 小岩農政課長。

(小岩農政課長) それでは私の方から詳細の方、補足させていただきます。

資料の2ページ、(4)、農業施設関係でございますが、このビニールハウス113件の内訳をお話させていただきます。ビニールハウスのうち、育苗用としていたものが36件。それから、園芸用ということで使用していたものが33件。また、機械格納用としてお使いになっていたビニールハウスが17件。それら合計すると86件でございました。その他27件につきましては、堆肥保管庫とか資材置き場として利用されていたということでございます。先ほど部長も申し上げましたように、この被害状況につきましては、日にちを追うごとに増えておりますが、昨日の集計時点で、ビニールハウスにつきましては190件となりました。総数につきましては、263件ということで、報告をいただいたところでございます。

それから、昨日、両農協さんから、この大雪被害に対する支援、協力に関する要請がございました。要請事項といたしましては、農畜産物の生産を今後も維持できるように、次期作に向けた施設被害に対する支援とご協力を要請するというものでございました。

具体的な支援等につきましては、今後、検討して参りますが、まずは融資関係のお話をさせ

ていただきます。国の方で行っております日本政策金融公庫での窓口となっている融資につきまして、農林漁業施設資金、さらには農林漁業セーフティネット資金というものがございますので、そちらの利用について、市のホームページでご案内しているところでございます。また、農協さん独自の資金で、アグリマイティー資金というものがございます。農協さんの方ではそちらの活用も誘導していると聞いてございます。さらには、これは今後検討ということですが、過去に台風被害があった際に、自然災害等対策特別資金ということで、市、農協、県信連、いわゆるＪＡバンク、そちらの方で利子を補給いたしまして、農業者に無利子で貸し出すような制度資金がございますので、それについても今後、検討して参りたいという考えでございます。

さらには県の方の動きでございますが、本日午後になりますが、県南広域振興局の主催で、県南地域雪害対策連絡会というものが開かれます。この中で、被害の状況、それから要望等についての話し合いが持たれます。こちら当市といたしましては、県、国に対して、特に国には、激甚災害も視野に入れた検討をお願いしたいと考えておりますし、また、県、国へ補助制度等の創設による支援を強く要望して参りたいと考えてございます。以上でございます。

（小野寺議長） 渡辺都市整備部長。

（渡辺都市整備部長） 都市整備部でございます。私どもの方からも補足説明をさせていただきたいと思いますが、まずもって、この大雪に対して除雪が追いつかず、市民の皆さんに多大なご不便、ご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げたいと思います。

除雪の詳細については担当課長から説明させたいと思いますが、私からも一つ補足して説明したいことがあります。実は、水沢駅の自転車置き場、水沢駅の正面に向かって左手、北側にある自転車置き場なのですが、その一部が雪の重みで倒壊しました。長さが大体四、五十メートルあるでしょうか。これが、雪の重みで倒れまして、通路を塞ぐような形になっております。結果、その置いてあった自転車の上にこう倒れかかるような格好、或いは倒れていない部分の自転車の出し入れもできないような状態になっております。

発生したのは20日火曜日の夕方だったので、すぐに現場確認、対処を始めたのですが、なかなか現場の状況が、対応が難しいような状況になっています。と申しますのは、雪がそのまま厚く積もった状態で倒れています。復旧するためには、まず雪の除去から始めなければならない。それから、通路を塞いでしまっているがゆえに、その中の状況を確認しようにも、人が入っていくのもなかなか困難な状況になっています。業者に依頼しまして、今後の復旧、解体撤去のやり方、或いはどんな工程でいくのかというようなこと、或いは費用なども今、見積もり調査をお願いしているところであります。ですが、かなり人力で、手作業で行わなければならない作業が多くなっていますので、かなり時間も要してしまうようなことが見込まれる状況となっております。詳細については、今後、わかり次第お知らせなりをする機会があるかと思いますが、今はまだ調査、検討中だというような状況であります。これをとりあえず、ここで報告させていただきたいと思います。

では、除雪の方を担当課長から説明させたいと思います。

（小野寺議長） 千葉維持管理課長。

（千葉維持管理課長） 維持管理課長の千葉です。よろしくお願いいたします。

都市整備部所管の大雪に伴う対応状況についてご説明いたします。12月14日以降の大雪により、12月14日から幹線道路及び生活道路3,872路線、延長2,466キロメートルの除雪作業を、委託業者57社、229台の除雪機械、融雪剤散布車が稼働して対応しております。

市民からの除雪要望、苦情が1日100件近くあり、内容は早く除雪して欲しい、轍や凹凸の路面状況が悪いので、路面成型の要望が大半であります。その要因は、日中の気温が上がらず、真冬日が3日間続き、日中に降った雪が解けずに圧雪となり、12月22日の午後から気温が上昇し、表面が溶け出したことにより、路面がザクザクとなったことによるものです。そのほかには、倒木が76件発生しております。職員の直営作業と業者に委託して対応しております。幹線道路につきましては、排雪作業を22日から実施しており、江刺、水沢地域で排雪作業を行っております。以上でございます。

(小野寺議長) ただいま説明いただきました点について、ご質問等ございましたらお願いいたします。7番、千葉康弘議員。

(千葉康弘議員) 3点質問をさせていただきます。除雪に関しては、今一生懸命やっているところだということですが、なかなか追いつかないという状況、わかりました。ただ、今、幹線道路の除雪をしているってことですが、この除雪のめどってというのはいつごろまでに考えられているのかというのが1点でございます。

次に、ひとり家庭とかありますが、除雪バスター、各地域とか社会福祉協議会が中心になって活動していますけれども、その中でどのような要望があるのか、また支援は必要ではないのかということがありますけれども、その辺はどのように把握されているかについてお尋ねいたします。

3点目が、雪を捨てるところがないという苦情がよく聞かれますけれども、各地区では雪捨て場ってというのは確保されているのかどうかについて、以上3点について質問いたします。

(小野寺議長) 千葉維持管理課長。

(千葉維持管理課長) それでは私の方から、除雪のめどと雪捨て場の確保についてご説明いたします。

1点目の除雪のめどですけれども、今度の日曜日を目標にと考えております。それで、年末年始に寒波が来るとということで、それまでに何とかめどをつけたいと思っております。

市民の雪捨て場の確保でございますけれども、5地域、各地域1か所ずつ確保しております。これについては、ホームページ等にも掲載しております。水沢につきましては、胆沢の桜づつみの駐車場。江刺につきましては、J Aごくようの会館の北隣、前沢につきましては、太郎ヶ沢の一般廃棄物処理場。胆沢につきましては、胆沢の維持管理課の資材置き場を確保しています。衣川につきましては、旧衣川総合支所跡地を確保しております。以上でございます。すいません。1点訂正いたします。前沢の雪捨て場ですけれども、太郎ヶ沢の処理場から駅東のアンダーパスの予定地に変更しております。

(小野寺議長) 高橋福祉課長。

(高橋福祉課長) お答えいたします。社会福祉協議会において、支えの会ということで、生活に困った方に対する支援活動を行っているところでございますけれども、こちらについては、日常的なゴミ捨てとか、買い物とか、そういったことを中心に行っている支え合いの会でございまして、今回のような、大雪に対する除雪までを想定しているものではございませんので、そういった取組みについては、現在行うことはできないというような状況でございますし、また、社会福祉協議会で災害が発生した場合にボランティアを募集して、それを派遣するという取組みも行っておりますけれども、被災しているのが奥州市内ということであれば、なかなか、ボランティアを募集しても集まらないし、過去に県北で災害が発生した時も、実際は社会福祉協議会の職員が中心となってボランティア活動をしたというようなことがあって、ボランティアにおける対応というのはなかなか難しいのかなということでございます。また、衣川におけるスノーバスターにつきましては、現在活動を行っていないという状況でございます。

(小野寺議長) 他にございませんか。26番、渡辺忠議員。

(渡辺忠議員) 市道見分森線の見分森公園の通りの並木は、雪の重みでほとんど道路沿いになびいて、雪が積もった状態で、私も電話させていただきましたけども、非常に危険だなという意見がたくさん出ております。朝夕のラッシュに道路沿いを車が通ります。それから、高校生も自転車でそこを通っている方がたくさんあります。先般も雪で、松並木が南側の日当たりいい方向に斜めに育っているんですね、ほとんどが。ですから、斜めに対してさらに雪が積もっていますから、本当に今にも倒れそうだっていうのが多くの意見でございます。あれを、ここ何日かけて、心配な枝は下していただきましたけども、枝よりも本体そのものが道路側になびいているものですから、それに雪が積もった状態を見ると、本当にあそこ下を通るのが非常に危険だと。むしろ通行止めにしたほうがいいんじゃないかっていう話も地元から言われました。もう少し詳しい担当課が出向いて、危険な状態を、安全に守る方法を、少し考えた方がいいんじゃないかなと。ただ、市民公園ですからね、いろんな規則等あると思いますけども、た



だ、道路側の松並木は、やっぱりこの際、現況をしっかり確認して、例えば春先、夏場に向けて検討された方がいいんじゃないかという意見がたくさん出ておりますので、その辺どのように現地確認して対策を講じようとしているのか、お伺いいたします。

（小野寺議長） 渡辺都市整備部長。

（渡辺都市整備部長） 見分森公園の松の枝折れがありまして、先般、それに車がぶつかったという事案も実はありました。それで、その連絡を受けて、応急措置として枝下しなども行ったところであります。実は公園の中にも倒れかかっている木があります。こういった木に関しては、雪解けを待って伐採する必要があるというふうに考えております。これは見分森に限った話ではなくて、他の公園においてもそういった木がいくつかあるような状況でありますので、ご指摘いただきましたように、今後のことも考えた上で、或いは道路にもせり出しているようなものも含めて、調査して、必要があればもう伐採をも検討するような方策を考えていきたいというふうに思います。以上です。

（小野寺議長） 渡辺忠議員。

（渡辺忠議員） 考えているっていうことでわかりましたが、ただ今、現実には、自転車通学されている、今は少ないんですが、松並木、私が数えただけでも10本ぐらいは、南面道路側になびいております。しかも、太さが70センチのものがあれば、80センチのものもあるし、それから枝がほとんど見分森公園の方になびかないで、ほとんど道路側になびいて、当然、南面の日当たりがいいですから、そのように育ったんですけども。私はやはり、朝、早めに出向いて、枝に雪が乗った状態は、むしろ通行止めにするか、それから片側通行にするか、それから安全策を。まず、市民が納得するような、あそこは通っても大丈夫だよという、その安心感を。おそらく誰に聞いても大丈夫ですよということはいえないと思います。ですから、私はやっぱり、事故が発生してからではなく、市でやるべきものは、安全対策。通行止めにするって、出勤時間にあそこを通行止めにする、ほとんど大変なパニックになると思うんですが、やはりそうでもしないと、担当部だけではなく、やはり関係者が出向いて、一同に意見交換して、将来的にどうすればいいか。私は、公園の景観を保つのも大事ですけども、やはりあそこを通る市民が心配しながら通っているというのは、やはり、市として対応すべきではないのかなと思いますので、担当部も含めて、やはり安全対策しっかりこう、マスコミ報道でもいいだろうし、そこを通行する時は、やはり危険な状態は、私は対応策の一つとして、市として管理するものですから、しっかり対応すべきだと思いますので。今検討するということだと思いますけども、検討している最中に事故が発生しては大変だと思いますので、私はこの天気状況、気象状況がよい形の中で、何かここを通る時のその危険だということをお話しておいた、示した方がいいのかなと思いますので、その辺も含めてお答えいただきたいと思います。

（小野寺議長） 渡辺都市整備部長。

（渡辺都市整備部長） ご指摘の趣旨を踏まえまして、改めて現地の調査、今後の対応について、早急に考えて参りたいというふうに思います。以上です。

（小野寺議長） 18番、加藤清議員。

（加藤清議員） 農業関連被害についてお尋ねをします。今説明あったわけですが、今の説明以上の想定外の被害状況だろうというふうに思っています。昨日、岩手ふるさとさん、或いは江刺さん、それぞれ状況を確認しましたがけれども、今報告があった数字、このぐらいの数字ではもう、全くズレが大幅にあります。今、農協さんと詰めていらっしゃると思いますが、やっぱりもっともっと被害状況を早くこう捉えて、対策を明確に出す必要があるんだろうと思うんです。

なぜそのそういう話をするかといいますと、結局、かなりその被害がある。特に、水稻関連のハウスについては、1人で請負って、面積なり、或いは育苗のハウスがかなり多い。でも1人で5棟も6棟も1回でつぶれてしまったと。地域の営農形態を支えているわけでありまして、この天候下の中で4月の育苗の期間が決まっているわけですよ。4月20日ぐらいまでには播種をしなければならない。或いは遅くとも4月いっぱいには播種しなきゃならない。この考え方、期間の中で、破損された施設を除去して、建て直して、営農形態を作って、かな

り至難な業だと思います。それはご案内のことだと思いますから、できるだけそういう状況を、円滑に事業が進められるような対策を打たなければならない。それは水稻に限らず、園芸の施設もその通りだと思います。限られた期間の中でどうやれるか、やらなければならないのかっていうことを考えた中で、きちっとした対策を打つということが、大前提だと思います。昨日時点では、それぞれ施設園芸に関わるメーカーさんに問い合わせをしたところ、資材は十分あると。発注をいただければ幾らでも対応しますよという、そういうメーカー側の体制になっていますので、できるだけその被害調査を的確に把握をして、どの資材がどれだけ欲しいのかっていうことを農協さんと精査をしながら、いずれ早くその対策を打つ必要性があるのではないのかなというふうに思います。

それから、この資金対応ですが、それもすでに今話がありましたけれども、若い方々は、多少投資をしてもやるというお話のようですが、こういう年代になると、なかなか二、三百万円、或いは500万円を投資してやるとなると、やっぱり二の足を踏むというふうに、現場はそう流れになっていますので、ぜひ資金対応が農家の負担にこたえられるような、そういう資金対応をやっぱり考えていくということが大事だろうと思います。そんな中で、よろしければ国なり県なり、或いは中央会の支援対策があるということでもありますけれども、融通があって、使いやすいような市独自の一定のところ、例えば、除去する分についてはおそらく費用は出ないんだと思います。費用の部分っていうのは、まず片付けるのに膨大な手間暇、金がかかる。今、建てるのも、昔は自分で建てた方がいらっしゃったんですが、今この頃は、ほとんど自分で建てないんです。ほとんど業者をお願いして建てるという流れになっていますから、解体とか建てるだけでも、例えば、1,000平米、一反歩に建てると思えば、100万円やそこらの金は吹っ飛ばんです。そういうのは、おそらく補助事業の対象にはならないと思うんですが、よくわかりませんが、いずれ、例えば平米500円なり300円なりというね、そういうその事業が円滑にできるような、そういう独自性のある支援対策も場合によっては必要ではないのかなと、こんなふうに考えて、農協さんとも今詰めて、いろいろ協議をさせてもらっています。ぜひそういう細かいところまで対応できるような対策を講じていただければありがたいというふうに思います。

今回の特徴は、栽培棟だけではなくて、中核農家の農機具、コンバイン、トラクター、田植え機、乾燥機が入っている比較的規模の大きい建物が潰れているんです。それは、それなりの投資額がかかります。ぜひそういう部分も含めながら、どう農家側に立った支援対策が可能なのかっていうことを対処していただければと。或いは、今私が話した以外にも、果樹とか、畜産とかっていう部分も当然ありますので、畜産農家も、農機具置き場、ワラ置き場、そういうのが軒並み潰れています。ぜひそういうきめ細やかな対策を打っていただきますようお願いをして終わります。見解があれば、お伺いをいたします。

（小野寺議長） 鈴木農林部長。

（鈴木農林部長） ありがとうございます。農協さんと協力しながら対策、その把握、早急にしていきたいというふうに思っています。どういう形でやったらいいかっていうところも含めまして、手続等も含めまして検討して参りたいというふうに思います。以上でございます。

（小野寺議長） 4番、高橋晋議員。

（高橋晋議員） 4番、高橋です。まずは早急に現状把握していただいて、対応を練っていただきたいと思います。私からはこういう災害とかが起きたときにどのように対処していったらいいかということが今度ちょっと、質問したいと思います。私は知り合いが維持管理課におりましたので12月16日に確認しましたならば、問い合わせの電話を受けるだけで、業者にそれを伝えることすらできなかったというふうなお話を聞きました。そこで、今までも何度か一般質問等でもお話ししてきましたけども、ITを活用して、市民全員がパトロール隊員だというふうな認識で、現場に目撃した人がいるわけですから、その人からスマートフォンで写真を撮っていただいて、送るというふうな仕組みを、早急に作っていただいて、状況が幾らかでも早くわかるような体制。やっぱり現地に来て、見てくれとかっていうふうな苦情言う方もいるそうなんですけども、それは難しいところがたくさんあると思いますので、それを例えば、即座にホームページに写真と状況を上げて、優先してこれからやっていきますとか、そういうふうなこと



もできると思いますので、これは災害に限らず日常の道路のパトロール等でも、穴が空いているところをすぐに教えていただいたりして、状況を見て、優先度を決めていただいて、修理するというふうな、維持管理にも役立つと思いますので、その辺どのようにお考えかお聞かせいただければと思います。

(小野寺議長) 千葉維持管理課長。

(千葉維持管理課長) ではＩＴの活用ということで、現在、前の議会でもご質問がありまして、穴ぼこ等の道路被害について、ＩＴを活用した情報収集ということで、情報の方と庁内で検討しております。その中には、ＬＩＮＥを使用したものとか、そういうものを今、検討しておりまして、それを活用しながら、情報が入るような形で対応して参りたいと思います。

(小野寺議長) 高橋晋議員。

(高橋晋議員) できるだけその辺、早急に開発、仕組みを作っていただいて、市民に告知していただいて、やっぱりそれを作るだけでも相当費用面、それから時間面、解決できる場所があると思いますので、お願いして質問を終わります。

(小野寺議長) 11番、千葉敦議員。

(千葉敦議員) 11番、千葉敦です。この大雪ですけれども、障がい者とか老人、高齢者ですけれども、特にも一人住まいとかなかなか足が不自由、手足も含めて不自由、体の不自由な障がいの方等の除雪の要望が来ているかと思うんですけれども、私も相談を受けたところもあんですけれども、こういった場合にどのようにやっていったらいいのか、検討されているのかをお願いします。

(小野寺議長) 高橋福祉課長。

(高橋福祉課長) 議員ご指摘の通り、障害者、高齢者から多数の問い合わせの電話をいただいているところでございます。話をよくお聞きしますと、やはり、車が外に道路に出られない、或いはデイスサービスの車が来てもなかなかその家までたどり着かないというような話、訴えが多いというふうに捉えているところでございます。いずれ門口の部分については、道路側については、除雪をしていただくものの、なかなか壁になって家には実はたどり着けないとか、或いは車が出せない状況であるということになってございますが、なかなか当課といたしましては、具体的な解決ってということは、手が打てないというような状況でございますが、日頃進めております地域のネットワークの中で、関係づくりの中で、協力していただける方がいると思いますので、そういった方にご相談いただくようにお話をしているところでございますし、また、中には業者の方で除雪をしていただく業者さんもいらっしゃるようですので、そういった情報を提供しながら、個人宅の、個人の敷地内の除雪についての取組みを情報提供しているというところでございます。

(小野寺議長) 千葉敦議員。

(千葉敦議員) 今言われました地域でのネットワークづくりですけれども、なかなか除雪ボランティア、衣川地域とか、金ヶ崎町さんでは、元々雪が多いのであるかと思うんですけれども、水沢とか江刺でこのような大雪というのがしょっちゅうあるわけじゃないので、進まなかったのではないかなと思いますけれども、やはり市としても、そういったネットワークづくりというのであれば、そういった後押しをする、支援といったことが必要かと思うんですが、それについて見解があればお願いします。

(小野寺議長) 高橋福祉課長。

(高橋福祉課長) お答えいたします。地域の取組みにつきましては、昨今の異常気象の多発等を踏まえまして、強力にその取組みをご説明或いは取り組むようにしているところでございますが、なかなか地域の方々の顔が見えない地域っていいですか、アパートが多い地域とか、そういった地域では、災害時に事前の取組みが必要なんだよということをお訴えしても、なかなか大丈夫ですというようなことなんだと思いますが、そういったネット会議の開催すら困難であるという旨のお話となつてございまして、自分たちの地域は自分たちで守るというような考え方が浸透しない地域も中にはあると思います。あと、補足ですけれども、先ほどの衣川のスノーバスターズにつきましては、やはり高齢ということで、若い方の続く方が、後継者がいな

いということで、継続が難しいということで、今まで行っていた除雪についても継続することが難しいというような状況でございます。

(小野寺議長) 5番、小野寺満議員。

(小野寺議長) 5番、小野寺満です。資料の4ページに、除雪要望については843件あったということですが、昨日現在、この843件のうち何件、何%対応されて処理済みなのか教えていただきたいと思います。

(小野寺議長) 千葉維持管理課長。

(千葉維持管理課長) 現在の進捗状況でございますけども、私どもが把握しているのでは、5、60%ぐらいではないかと思っております。それで、現在22日から気温が上がったことにより、229台を全車稼働させております。それで、先ほども申しましたけれども、日曜日までには何とか9割以上にしたいと考えております。以上でございます。

(小野寺議長) 小野寺満議員。

(小野寺満議員) 私もうやっぱり電話が市民の方から何件か来たわけですが、やはり皆さんで担当課の方をお願いして欲しいということでお答えしております。それで、5回も6回もかけたけれども全然来ないという方もおります。市民の方は来ることを待っておりますので、たとえ雪が降らないとしても、今課長のお話ですと降らなくてもちゃんと対応して、除雪をやっているということですので、時間かかってもいいですので、要望のあった843件につきましては、90%と言わないで100%、間違いなく除雪対応していただきたいなと思っておりますので、その辺についてコメントをお願いします。

(小野寺議長) 千葉維持管理課長。

(千葉維持管理課長) いずれ、都市整備部といたしましては、電話対応、土木課、都市計画課等の応援をいただきまして、毎日100件以上の苦情対応をしております。それで、受付をしまして、路線確認、業者への発注、そういう段取りで今進めております。議員おっしゃる通り、100%除雪できればいいんですけども、何とか、ライフラインを確保できるように除雪して参ります。以上でございます。

(小野寺議長) 15番、菅原由和議員。

(菅原由和議員) 連日、昼夜問わずのご対応に感謝申し上げます。私から簡潔に確認でございます。冒頭、市大雪対策連絡会議を開催して、情報共有を行ったというお話がございました。で、これの窓口となるのは市民環境部危機管理課でよろしいのかってことを確認させていただきたいと思っておりますし、それから、23日に開催をしたというお話がございましたが、これは一度だけの開催なのでしょうか。それから、これはどういう頻度で開催をしようとしているのか、今後どのような開催を考えているのかお伺いしたいと思います。

それから、様々市民からの要望等もあると思っておりますし、或いは、市として緊急度のあるものを対応していかなければならないといった対応方針を決定するのは、各課それぞれが判断をして対応をされてきているのかということを確認させていただければ、その意思決定はどのようにしてこれまで対応策を検討されてきているのかお伺いします。

(小野寺議長) 小野寺市民環境部長。

(小野寺市民環境部長) お答えいたします。一昨日の連絡会議につきましては、冒頭の市長の挨拶にもございました通り、今回の災害警戒本部、或いは災害対策本部、こちらの方の設置には至っておりません。ただし、こういった状況でかなりの被害状況の報告が来ておりますので、何らかの形の情報収集は必要であるとの考え方に基きまして、当部危機管理課から召集した形をとりまして、今回、連絡会議を設置させていただいております。今後の頻度でございますけれども、この1回で終わりということではなく、年末年始の大寒波の情報も得ておりますし、今後、この状況がおさまるまでといいますか、ある程度小康状態が続くまでは、いつ、何回ということはこの場でまだ述べられませんが、年明け早々にも開くことが想定をしておるところでございます。

なお、今回そういった対策本部とか、そういった形は取っておりませんので、各担当課におきまして、それぞれ所管業務、これに基づきまして対応いただいておりますのでございます。

で、一応それに基づいて進められておるところでございますけれども、いずれ今回、このような状況で、市全域にわたります被害が想定されるということを踏まえたと、例えば、今現在、当市の地域防災計画におきまして、雪害に関しましては、ある程度道路交通の確保ですとか、雪崩の注意の周知、その程度しか入っておりません。これを、例えば雪害対策編という形で計画を策定するのか、それとも、市としての何らかのこういった大雪の対策方針を統一した形で作らなければならないのか、これは例えば当部危機管理課の方が率先する形で、今後の対応を決めていく必要があるんだろうなと思っております。ただ、いま現在におきましては、それぞれの所管課におきまして、それぞれ対応いただいているというのが現状でございます。以上です。

（小野寺議長） 今野裕文議員。

（今野裕文議員） ちょっと体制について。私、大体4時前には外に出て歩いているんですけど、まず、受託業者と除雪機械の数っていうのが、この間何年かみて同様の数なのかっちゃうのが、一つお伺いします。

あともう一つは、今年の出動、遅いんですね、出るのがね。私だけそう思っているわけではなくて、私が大体4時に外に出れば、あっちでもこっちでも、こう点滅ランプがついているっていう状態だったんですが、本年はそういう状況がないと。どういうわけなんだろうというふうに思っているんですが、思い込みかもしれませんけど。例年通りの体制になっているのかっていうのを伺います。

それから、胆沢では南下幅が最悪ですね。今日は全く歩けない状態。どうしてこう、忙しいからって言えばそうなんだけれども、胆沢の業者が水沢に行っているともちょっと思えないんだけれども。なぜそうなのかっていう思いがあるので、体制上どうなのかと。この間のオペレーターが確保できないとかいろいろあるんだと思うんですけど。そこら辺、どういうふうに捉えているかお尋ねします。

（小野寺議長） 千葉維持管理課長。

（千葉維持管理課長） それでは、機械の状況でございますけれども、いずれ28年度は231台、29年度232台、30年度は236台、令和元年度が229台ということで、若干ですけども少なくなっております。

それで、除雪の出動の判断、基準でございますけれども、まず、概ね10センチ以上降った場合には、自主的に判断して出てくださいと。今回のように大雪の場合は、前の日に業者の方に出動をお願いしております。それで、早朝路線につきましては、深夜12時過ぎから出動しております。生活道路も稼働しているわけですけども、除雪状況が悪いということ、除雪機械が小型機械だと押せない箇所が今回の大雪で見られておりますので、その辺をどのようにしたらいいか検討して参ります。以上でございます。

（小野寺議長） 今野裕文議員。

（今野裕文議員） そうすると、機械はそんなに減ってない。それで、ちゃんと稼働しているのかっていう、伺うようで申し訳ないんですけど、全く違うんですね、今までと動きがね。もちろんどっと降ったから動けない機械もあったんだかもしれませんが。きちんとオペレーターが確保されている、そういう状況は掴んでいるんですか。去年はもうほとんど稼働がないからですけど、雪降れば結構ね、外に出れば胆沢平野なので、かなり遠方でも見えるわけですよ、動いているのが。それが見えないのは私の思い込みなのかと。疑問を持つんです。私だけでないんです、言っているのはね。まず、出るのが遅いと、動いてないと。ちゃんと分析して手を打っていかなくちゃいけないのかなと。雪が減っていけばいいんでしょうけど。非常に疑問に思うんだけど、そこら辺どうなんだろうと。きちんと分析する必要があるんじゃないかなっていうふうに思います。で、大きい機械でなければ動けなかったのも事実かもしれませんが、そこら辺よくこう調べる必要があるのではないかな。異常とは言いませんけど、ちょっとおかしいですよ、現実問題ね。外に出てね、1台とか2台のランプしか見えない状態。南都田辺りに行くとそうでないんでね、いつもの年はね。その稼働の状況をよく見る必要あるんじゃないかなと思いますので、いずれ頑張っていただいているのでありがたいことはありがたいんです。



が、そういう声が寄せられるので、よく分析して欲しいなと思います。

(小野寺議長) 千葉維持管理課長。

(千葉維持管理課長) 今、稼働時間が遅いのではないかとということでございました。それで、GPSを使いまして、私どもは除雪車が稼働しているかを確認しております。それで、稼働時間は、PCに情報が入ってきますので、その辺を確認しながら、今後、検討して参ります。

(小野寺議長) 12番、廣野富男議員。

(廣野富男議員) 12番、廣野富男ですが、大きく3点お伺いいたします。今般の災害っていいですか被害について、例えば、除雪にしろ、農業施設の被害にしろ、これらの被害状況の報告とか要請とか、どういうルートになっているんでしょうか。基本的に個別にしているのか、区長さんを通じてなのか、地区センターを通じてなのか。また、これはまるっきりバラバラになっているのか。私、基本的には、一般災害の場合、それぞれ対策本部が立ち上がって、各地区センターの方からそういう情報、或いは要請が来るものだろうというふうに認識をしておったわけですが、今般は、どういうその要請なり、被害状況の報告がされてきたのか改めて確認をしたいと思いますし、先ほどの話ですと、対策本部まではいかないというお話でありました。どういう状況になれば、今回のこの大雪に対する対策本部が立ち上がるのか、その点についてお伺いをいたします。

それと、午後に農業関係団体の協議会が開かれるようですが、先ほど加藤委員がお話したように、特にビニールハウスについては、先ほど水稻っていう話ですけど、江刺の場合は愛宕が一番被害が多いんですね。田原、岩谷堂、稲瀬で、一番愛宕エリアがビニールハウスの被害が多いです。特に野菜なんです。野菜というのはキュウリですね。キュウリ等は2月定植になります。そうしますと、この暮、或いは春早々に撤去して、建ててやらないと、今年のキュウリ栽培すらできないという状況になりますので、この辺は、おそらく今日の午後の会議で農協から要請はあると思いますが、一番心配なのは、先ほど資材は潤沢にあるってことですが本当に潤沢なのか、これをまず確認して欲しいと。それと撤去と設置にかかる方々がいるのかどうかです。先ほど言ったように、今までは農家がやっていましたけど、かなり昔のようなのやわなハウスじゃなくて今、丈夫になっているし、なかなか個人でできなくて業者をお願いすると。その業者、十分この2月、3月のハウスの定植に本当に間に合うのかどうかと。ここら辺の側面的な支援も必要だと思いますので、ぜひその辺、担当部担当課の方で対応していただきたいんですが、その辺の考え方、お願いします。

それで、先ほどちょっと忘れたんですが、除雪の関係で、江刺の工業団地が大変だったようです。上りは2車線で道路ヒーティングがなっていたんですけど、ほとんど効かなかったっていいですかね、結果的に除雪はしたけど、1車線しかならないということで、立ち往生した状況も伺いました。或いはその支線の部分も、なかなか除雪が来なかったっていうことなので、今の連絡網ですとね、工業団地内の道路除雪が後回しになって、企業の運送等々に大分支障があるのではないかとというふうに思ったところでありますので、現状と今後の対応についてお伺いをいたします。

(小野寺議長) 門脇管理課長。

(門脇危機管理課長) 私の方から2点ご回答いたします。まず、被害の報告状況なり、行政の情報収集をどのようにされているのかということでございますが、今回は、災害に準じた対応ということで、庁内に災害情報共有システムというものを持ってございまして、それに各課から電話なり、口頭で情報をいただいたものを随時入力していくと。それで一元管理をしているということを、今回の大雪でも取らせていただいたというところでございます。

それから2点目の災害対策本部、どのようになれば設置なるのかということでございますが、まずは、一般的には警報が発令された場合に、我々危機管理課で災害警戒本部を設置いたします。その後、このまま警報等が長引けば、人命、財産等に支障を及ぼす恐れがあるというふうに判断した場合に初めて、災害対策本部に移行するというようなものでございまして、今回の大雪では、まだ人命等への影響というものは、情報等の収集には及んでございませんので、災害対策本部の設置にまでは至っていないという状況でございます。以上です。

(小野寺議長) 小岩農政課長。

(小岩農政課長) 私の方から、農業関係の被害状況の収集っていいですか、報告につきましてですが、これにつきましては両農協さん、それから共済さん等から情報を上げていただいております。さらには、ビニールハウス数の部分でございますけれど、資材が潤沢かという部分につきましては、昨日の要請活動の中で、岩手ふるさとさんの方からいただいた情報で、全農さんの方等々で資材は潤沢にあるよという情報を入れているということでございました。ただ、確かに業者につきましては、なかなか苦慮する部分があるんだろうなと思っておりますが、一つ、この大雪の被害受けたのが県南地域であるという部分から、県北とか県央とか、そちらの方の業者等を頼めないのかなという考えはございますが、その辺は、今後の会議の中でも取り上げていきたいと思っております。よろしくお願いします。以上でございます。

(小野寺議長) 千葉維持管理課長。

(千葉維持管理課長) それでは、江刺工業団地内の除雪の対応でございますけども、4車線につきましては、2車線を確保するように、朝の通勤時にはしております。それで、団地内の道路で、昨日、路面がザクザクになったということで、大型トラック等がちょっと進めなくなったというような苦情が入ってございました。それで、いずれこの天気でございますので、暖かくなってきましたので、ザクザクになった部分を早急に取り除いて、路線の確保をして参ります。以上でございます。

(小野寺議長) この全協、他に案件があるわけですが、昼食前に決めたいと思いますので、質問は簡潔にお願いします。廣野富男議員。

(廣野富男議員) ありがとうございます。ぜひ団地内の除雪については、団地協議会さんの方とやりとりされているのかどうかわかりませんが、一つ情報の提供、収集をルート化して欲しいと思いますし、雪害による農産物、或いはビニールハウス、おそらくリンゴも影響が出てくるのかなってというのが若干の心配なので、的確にその情報収集に一定のルールを設けながら、万全を期していただきたいということを申し上げて終わりたいと思います。

(小野寺議長) 渡辺都市整備部長。

(渡辺都市整備部長) 団地の幹線道路の除雪の対応についてのご意見ではありますけれども、市内、それぞれに幹線道路、生活道路があります。そういった路線に関する要望、個々人から或いは企業等からも要望が個別に寄せられている状況です。これをルール化することがいいのか、或いはかえって対応が遅れてしまうようなことにならないのかといったところも、逆の検討も必要になろうかとは思いますが、いずれ、早期に2車線のある道路は2車線の確保を、4車線のところは4車線の幅員が確保できるような除雪に努めて参りたいというふうに考えております。以上です。

(小野寺議長) 鈴木農林部長。

(鈴木農林部長) ありがとうございます。農協さんからもお話を受けていますし、私もそう思いますけれども、リンゴ等については、枝倒れ等はなかなかこの雪で発見しにくいという状況もありますので、雪がある程度収まったというか、枝が見える状況になれば、その被害がわかってくるのかなというふうに思いますので、その辺も含めまして、いずれ調査、或いはその状況把握については、進めて参りたいと。また、対応についても、農協さんとともに対応して参りたいというふうに思います。以上でございます。

(小野寺議長) 他にございませんか。佐藤郁夫議員。

(佐藤副議長) 時間も押していますので、簡単にお聞きします。先ほどの菅原議員の質問と関わりますが、雪に対する対策本部の設置はどうかということの質問がありまして、門脇課長からは人的云々というのがありましたが、私は、そのことはきちっと対策本部の中で位置付けられているのかどうかということと、あとは意見です。合併後、こういうことがあったかどうか私もわかりませんが、かなりの大雪です。積雪ばかりじゃなくて、かなりの被害です。従ってそのことをきちっと検討しておくべきだと思いますが、いかがでしょうか。そのことっていうのは、対策本部の在り方ですよ。

(小野寺議長) 小野寺市民環境部長。

(小野寺市民環境部長) 今回の大雪に関しましては、私どもがこれまでに経験したことのない被害であるということについては認識をしているところでございます。いずれそういったことも含めまして、普段であれば大雨、洪水等とか台風に関しましては、気象警報、こちらの情報の収集をいたしまして、警戒本部なり、対策本部への移行ということがスムーズにいくように努めて参りましたけども、今回の雪に関しましては、先ほど課長申しました通り、なかなか警報が発令されないということも今回、認識をしたところでございます。ただ、それによりまして、こういった状況でこういった被害なのかという予測もなかなか難しいところでございます。そういったことを、今回の件につきまして教訓といたしまして、先ほどの菅原議員への回答に申しました通り、地域防災計画の中に位置付けるのか、それとも市の大雪対策方針として別途設けるのか、その辺も含めまして、これを教訓として今後、検討して参りたいと思っております。

(小野寺議長) 佐藤郁夫議員。

(佐藤副議長) 内容はわかりました。これは今後検討していきたいということは、早急にやってください。早急に。雪解けてからとかどうかじゃなくて、早急にその検討をお願いしたいと思います。以上終わります。要望です。

(小野寺議長) 他にございませんか。それでは、令和2年12月14日以降の大雪に伴う影響については、以上とさせていただきます。説明者入れ替えのため、暫時休憩します。

再開いたします。続きまして令和2年度奥州市成人式の開催方式の変更について、当局から説明をお願いいたします。浦川協働まちづくり部長。

(浦川協働まちづくり部長) それでは、私の方から先週皆様の方には、成人式の開催方法を変更するということで通知をさせていただきました。その後、報道機関への通知、それからホームページへのアップ、それから対象者への通知を行っているところでございますが、改めて今日は、成人式の方法について説明をさせていただくものでございます。

資料の方、1ページになりますが、上段の部分になります。開催方向の開催変更の理由ということで、ご承知の通り、全国的にコロナウイルス感染症が拡大しまして、11月に入っても感染者が増大、増え続ける一方だということ。そんな中で、新成人を一同に集めて成人式を開催することで、感染拡大を招く恐れがあることから、WEB配信による開催に変更するというものでございます。

少し飛んでいただいて、3ページ目をご覧ください。ちょっとこの内容は、時間の関係で端折らせていただきますけども、これは先々週の金曜日でございますが、国の対策分科会からの提言ということで、タイトルをご覧いただければと思うのですが、忘年会、新年会に合わせて成人式というような名指しをされております。その成人式の分を下に抜粋しておりますが、内容を掻い摘んで申し上げますと、要は注意喚起をされたと、慎重に判断をなさいたいということ。それから、帰省についても、東京等の帰省については控えるようにというような内容の提言だったと思っております。これらを受けて、市の方では開催方法を変更しようとしたということでございます。

資料1ページにお戻りください。それでは、どのような形で成人式を開催するのかにつきましては、岩渕生涯学習スポーツ課長の方から説明をいたさせます。

(小野寺議長) 岩渕生涯学習スポーツ課長。

(岩渕生涯学習スポーツ課長) それでは、お手元の資料1ページの2番目以降について、私から掻い摘んでご説明をさせていただきたいというふうに思います。

それでは2番の内容になります。WEB配信その他今予定している催しの概要、一部検討中のものがありますが、そちらについてご説明を申し上げます。

(1)として、1月10日、日曜日になりますが、下記内容をウェブ上で視聴できるように配信したいというふうに考えてございます。内容はまず、式典形式として式典を行います。市長の式辞、それから市議会議長さんの来賓祝辞、それから新成人誓いの言葉、こういったものを配信したい。続きましてその後、記念行事ということで、新成人の皆様が企画した中学の恩師からのビデオメッセージ、それから例年行われております記念行事として家族からの手紙、



こちら配信したいというふうに考えてございます。なお、この配信して視聴できる期間は、当初の開催予定日から1週間程度を予定してございます。

それから(2)でございます。例年ですと当日、新成人の皆様に家族からの手紙を渡しておるんですが、集まらないということで今、事前にお預かりしている家族からの手紙を、成人式当日までに新成人の皆様方へ郵送したいというふうに考えてございます。

それから(3)、今年度につきましては、記念品の贈呈を新成人の皆様に祝いとして贈呈したいというふうに考えてございます。こちらは新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金を使いたいというふうに考えておるものです。

では(4)です。フォトスポットを設置。新成人の個々の記念写真撮影用として、いわゆる記念撮影ができるようなもの、場所、こちらはたて看板を設置するものなんですが、そういったものを各地域に設置して、フォトスポットとしてご利用いただければというふうに考えてございます。もちろんこれらの内容につきましては、新成人の皆様、実行委員会の皆様といろいろ協議、皆様のご意向を伺いながら、いろいろ検討してきたものでございますし、当日まで引き続き協議して開催したいというふうに考えてございます。

めくっていただいて、2ページ目になります。3番ですが、新型コロナウイルス感染症の対応、地方創生臨時交付金事業を今回、活用させていただきたいというふうに思っているんですが、その主な内容でございます。新成人への記念品として270万6,000円ほど。それから通信運搬費として19万4,000円ほど。先ほどご説明しましたフォトスポット用の看板になりますが、その作成手数料として12万7,000円ほど。それから、Web、これは事前収録したものを配信するんですが、そういった制作業務の方に32万7,000円ほどを予定してございます。これ以外に当初から計画しておりました成人式の開催経費を使って行いたいというふうに思っています。

それから4番目。参考までに他市の状況になります。平泉町さん、西和賀町さん、それから金ケ崎町さんにつきましては、来年度に延期。北上しさん花巻市さんについては開催方法の変更、一関市さんにつきましても、今、開催方法を検討中ということのようでございます。私からの説明は以上になります。よろしくお願いいたします。

(小野寺議長) ただいま説明いただきました点について、ご質問等ございましたらお願いいたします。19番、阿部加代子議員。

(阿部加代子議員) 阿部です。まず今回、成人式がウェブということで集まらないのは本当に残念だなというふうに思います。でもコロナということで仕方ないなということで、新成人の方もご理解いただけるのではないかと、ご家族の方にもご理解いただけるのではないかとというふうに思いますけれども、例えば、着物レンタルとか美容室の方々にとりましては大きな痛手かなというふうに思いますけれども、そこら辺の事業者に対する手当は何かお考えなのかお伺いしたいというふうに思います。それからフォトスポットの看板とかを立てられるようですけれども、これ必要でしょうか。どのような検討をされたのかお伺いしたいというふうに思いますので、結局、集まらないと言われても、個人、個別に集まって個別に撮ってくださいということではあるんですけれども、結局、都会の方からは来ないでくださいと、感染拡大地域からは来ないでくださいということですし、この期間ずっと置いておくんですか、この看板。そういうこともありますし、どこまで必要なのかなというのがあるんですけれども、お伺いしたいというふうに思います。

(小野寺議長) 岩渕生涯学習スポーツ課長。

(岩渕生涯学習スポーツ課長) 今2点ほど、ご質問だったかというふうに思います。着物レンタルとか、そういった業者さんに対してというお話でした。こちらに関しましては、この開催内容を変更するに当たって、事前からも開催方法、内容については変更があるかもしれませんが、この旨のお話はさせていただいてきておるところでございます。実際に変更した際につきましては、こちらからお問い合わせがあったところに関しては、お電話なりでお答えを申し上げたというところがございますし、それからフォトスポットの件でございます。こちらの方の看板を設置して、それはどうなのかというお話でございました。やっぱり成人の皆様の中には、そ

の記念として着物を着て写真を撮りたいと、そういう方もいらっしゃるというお話を伺っております。そういったことを踏まえまして、フォトスポット当日だけではなく、期間については、そのお受けをいただける場所等、今いろいろ協議をさせていただいているんですけれども、そういったところのご意向を踏まえながら、1週間とか10日とか、そういった期間をおいて、ある特定の日に集中しなくてもいいような形で、設置できればというふうに考えておるところでございます。以上です。

(小野寺議長) 阿部加代子議員。

(阿部加代子議員) 今回、成人式で着物を着る機会がなくなるということは、レンタル、それから美容室等も大きな痛手を受けるのではないかとこのように思いましたので、その支援をお願いしたのであります。それからフォトスポットですけれども、確かに記念でということはあるのかもしれませんが、再度着物起きて、1週間から10日ということの期間でありますけれども、どのぐらいの需要があるのかなというふうには思います。で、奥州市以外からなかなか来られないということもありますので、その辺のこの方々への配慮をどうするのかということもありますし、しっかり集まって写真を撮らないようにということにしておかないと、集まって来られる可能性もあるというふうに思いますので、その辺どうでしょうか。

(小野寺議長) 岩渕生涯学習スポーツ課長。

(岩渕生涯学習スポーツ課長) 1点目のご質問、支援の件について漏れておりました。ちょっとなかなか、幅広く、こういった方々を支援できるかということになるのかというふうに思いますが、ここはなかなか難しいのではないかとこのように考えておるところでございます。

それから、フォトスポットの件でございます。やっぱり議員おっしゃられたように、その時に人が集まらないようにというそういう注意喚起は、必要だというふうに私も思っておりますので、遠くの方がなかなか来られないという、そういった状況もございますので、そういったところは何かこう、背景だけでも使えるような形とか、いろんなこともちょっと実行委員の皆様と検討しておるところでございます。そういったところが決まりましたら、市のホームページ等々、或いは実行委員の皆様等々から、同級生の皆様に配信していただけるようお願いしたいというふうに考えておるものでございます。以上です。

他にございませんか。それでは、令和2年度奥州市成人式の開催方式の変更については、以上とさせていただきます。説明者入替えのため、暫時休憩します。

再開いたします。続きまして、過疎法見直しの影響について、当局から説明をお願いいたします。千葉総務企画部長。

(千葉総務企画部長) それでは、過疎法見直しの影響について、この件につきまして、これまで入手した情報及びその分析、そして今後の対応等について、二階堂政策企画課長から説明をさせていただきます。

(小野寺議長) 二階堂政策企画課長。

(二階堂政策企画課長) 私の方からご説明をさせていただきます。資料に沿ってご説明いたします。

まず概要でございます。現行過疎法は、平成12年に制定されて以来、三度にわたり過疎要件が追加されて参りました。また、合併前の過疎地域であった市町村を引き続き過疎地域とみなす一部過疎などの特例が設けられております。令和3年3月末で現行法が期限到来するという中、過疎法の見直しについて与党において議論が行われております。現在、与党内で検討されている案によると、主な変更点として、過疎地域の人口要件に係る基準年が昭和35年から昭和50年に見直されるということや、平成の合併前の市町村単位で要件を満たした場合には、これまで指定となっていない地域でも新たに一部過疎とすることなどが検討されております。

2番の本市への影響の確認でございます。与党検討案を基に本市への影響確認したところ、現在一部過疎となっている江刺地域については、人口要件を満たさず、過疎地域の指定から外れる可能性があります。過疎地域ではない衣川地域については、人口要件を満たすことから逆にこちらは新たに指定される可能性があります。

3番の今年度の過疎関係要望活動でございます。各種団体を通じた要望活動を重ねておりま

すが、ご覧の通りでございますけれども、8月7日には県統一要望で市長が、直接、県の要望。それから9月4日は、自民党県連、県選出立憲民主党国会議員及び希望いわてへの要望を市長が行っておりますし、11月11日、県選出国会議員との行政懇談会の席で市長が要望をしておるところでございます。それから11月20日、県選出国会議員への要望ということで、新田副市長が上京して要望をしております。それから12月24日、昨日でございます。先ほど冒頭、市長がお話いたしましたけれども、県選出議員或いは過疎関係議員と20事務所に対して訪問し、要望活動を行って参りました。

それから4番、今後の対応でございますが、今後、情報収集に努め、要望活動を継続して参るということでございます。

ページをお開きいただきまして、案ということで、自民党が出しております今後の過疎対策のポイントについて、掻い摘んでお知らせをいたしますが、まず、過疎新法については新たに制定するという事。それから2番の過疎地域の指定要件、経過措置について、(1)でございますが、基準年を見直すということで、昭和35年から昭和50年に見直す。ただし、激変緩和というのがありまして、今、過疎地域に指定されているところについては、昭和35年の人口も併用するという事。それから(2)、市町村の実態を踏まえた平成の合併による合併市町村の特例ということで、一部過疎の適用もしようということ。それから飛びまして(4)、卒業団体に対する手厚い経過措置ということでございますが、従来、法律が終わりまして、卒業団体に対しては、5年間の経過措置ということでございましたが、今回の検討の中では、6年間にしようということだそうです。それから、過疎市町村数、試算では817市町村、これに関しては再三、現過疎地域の引き続きの指定を要望してきておりますが、残念ながらやはり卒業団体を出さざるをえないということだそうです。

それから次のページでございますが、重点分野についてはご覧いただきたいと思います。

それから、4番の支援措置でございますが、国庫補助のかさ上げ措置がある、或いは(2)が一番大きい部分でございます。過疎対策事業債が適用になる。それから(3)の税制措置等々があるということでございます。

それから5番のその他でございますが、過疎新法の期間は10年としたいという案でございます。

次のページをご覧くださいと、これも自民党の方から出されている新法における過疎地域の要件ということでございますが、これ参考として後でご確認をいただきたいと思います。

そして最後のページになりますが、これが奥州市の方で作成した資料でございます。新法における過疎地域の要件による分析でございますが、自民党或いは公明党の会議資料から、引き続き奥州市が一部過疎に該当するかどうか分析した資料でございます。人口要件、それから財政力の要件をともに満たす必要がございますが、まず上の表でございますが、人口要件でございますけれども、長期、これを満たせば、文句なし過疎指定になると。これが駄目でも長期

を満たせばこれも過疎指定になると。それらに該当しなくても中期に該当すれば過疎指定という基準設定となっております。はじめに長期でございますが、昭和50年基準で、平成27年度までの間に18%以上の人口減少となっている地域を指定するというものでございますが、江刺、衣川が20%台にはなっておりますが、どの地域も基準を満たしていないということになります。次に、長期でございますが、人口減少率が23%以上で、かつ高齢者比率が35%以上又は若年者比率が11%以下、この条件を満たすことが必要だということで、前提である人口減少率が23%以上という基準を満たしている地域がない、ここでもどこも該当しないということになります。最後に注記でございますが、昭和50年より最近の平成2年を基準として、平成27年度までの間に21%以上人口減少していることが必要ということで、衣川地域が23.2%で、これを見ると衣川地域が過疎指定になる可能性がございます。ちなみに財政力指数は0.64以下ということ、奥州市は0.43なので、これは満たしているということになります。

次に下の表をご覧くださいと思います。現行法に基づく過疎地域である江刺地域が、激変緩和措置に該当するかどうかを分析したものでございます。現行法により、過疎地域と指定されているところが、以下の基準を満たした場合は、激変緩和措置としてこれも過疎指定され



るというものでございます。これも長期 を満たせば文句なしに過疎指定。それが駄目なら長期 を満たせば過疎指定というものでございます。

まず長期 でございますが、昭和50年ではなく昭和35年まで遡って、平成27年度までの間に減少率が40%以上であれば、過疎指定というところを、江刺は39.1%でわずかに基準を満たしていないというふうになります。次に、長期 でございますが、人口減少率30%以上でかつ高齢者比率が35%以上、又は若年者比率が11%以下という基準をクリアすれば過疎指定ということでございますが、江刺は人口減少率が先ほど申しました39.1%ですので、これは大幅にクリアしていると。問題は、高齢者比率か若年者比率のどちらかをクリアすればいいんですが、高齢者比率は34.9%とわずかに0.1ポイント届かない。若年者比率も11.2%、これは0.2ポイント届かないということでございます。ちなみに財政力指数は、0.6以下のところ0.43なのでクリアしているということになりますが、人口要件の基準を見ると、江刺は該当しないという可能性があります。いずれ衣川地域が該当するということで、これは喜ばしいことでございますが、奥州市の面積の4割を占める江刺地域が外れるとすれば、財政に大きな影響が及びます。引き続き情報収集を重ね、必要な活動を継続して参りたいと思います。以上でございます。

(小野寺議長) ただいま説明いただきました点について、質問等ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、(1)の説明事項3項目は、すべて終了いたします。説明者退席のため暫時休憩します。

#### 4 その他 (略)

#### 5 閉会

(佐藤副議長) 長時間にわたり大変ご苦労さまでした。以上をもちまして、全員協議会を終了いたします。ご苦労様でした。よいお年をお迎えください。

# 奥州市議会全員協議会

日時：令和2年12月25日（金）

本会議終了後

場所：7階 委員会室

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

(1) 説明事項

- ① 令和2年12月14日以降の大雪に伴う影響について
- ② 令和2年度奥州市成人式の開催方式の変更について
- ③ 過疎法見直しの影響について

4 そ の 他

5 閉 会

## 令和2年12月14日以降の大雪に伴う影響について

12月14日未明から岩手県南部を中心に降雪が降り続き、大雪警報等の発表は無かったものの、断続的に大雪注意報等が発表されました。

12月23日（水）現在の状況は以下のとおりとなります。

## 1 気象状況について

※ 降雪・積雪は、岩手県雪量観測情報（県土整備部道路環境課）より

降雪は前日6時から1時間当たり降雪量の累計、積雪は毎日6時時点の積雪深

	江刺(アメダス)		【水沢大手町】		【江刺】		【衣川】	
	気温(℃)		降雪・積雪(cm)		降雪・積雪(cm)		降雪・積雪(cm)	
	最高	最低	降雪	積雪	降雪	積雪	降雪	積雪
12月14日(月)	0.3	-3.4	14	12	14	12	16	15
12月15日(火)	-2.6	-5.0	15	20	9	17	14	26
12月16日(水)	-2.9	-7.1	25	44	21	38	18	40
12月17日(木)	-1.8	-12.5	9	43	11	39	27	55
12月18日(金)	2.6	-4.4	12	50	10	43	14	64
12月19日(土)	0.2	-5.4	6	46	3	39	5	57
12月20日(日)	-1.6	-11.8	10	52	6	39	14	68
12月21日(月)	0.2	-4.6	6	47	6	40	3	64
12月22日(火)	1.9	-1.6	5	51	4	40	5	62
12月23日(水)	4.1	-2.2	0	38	0	30	0	48
12月24日(木)		2.0		29		25		39

## 2 被害等の状況

## (1) 市内交通事故件数（12月14日～23日）

概数 226件

（昨年同時期66件）

## (2) 消防本部出動状況の概要（12月23日14時現在）

地域	救急搬送	救助	油流出事故
水沢	7	1	1
江刺	1		
前沢	2		
胆沢	3		
衣川	1		
合計	14	1	1
詳細	・屋根から落下 ・転倒（重症1：高齢者） ・落雪	・落雪で埋もれた。現場到着時、付近住民により救助済	・ホームタンクから流出



## (3) ライフライン

## ア 停電発生(12月16日以降)

発生日時	発生場所	停電戸数
復旧日時		
12月16日（水）00:00	衣川衣原	約30戸
12月16日（水）12:41		
12月16日（水）07:13	江刺玉里、藤里	約20戸
12月16日（水）17:25		
12月16日（水）09:36	水沢黒石町、羽田町	約500戸
12月16日（水）16:11		
12月16日（水）11:49	胆沢小山、南都田	約600戸
12月16日（水）13:06		
12月17日（木）20:59	江刺伊手、米里、住田町	約400戸
12月17日（木）22:57		
12月18日（金）01:05	江刺田原	約200戸
12月18日（金）04:31		
12月18日（金）04:32	衣川衣原	約100戸
12月18日（金）12:46		
12月18日（金）15:34	衣川衣原	10戸未満
12月18日（金）16:51		
12月19日（土）23:06	江刺稲瀬、広瀬	約100戸
12月20日（日）11:48		
12月19日（土）23:54	衣川衣原	約600戸
12月20日（日）04:30		
12月21日（月）13:45	奥州市の一部、平泉町	約100戸
12月22日（火）02:59		
12月21日（月）15:00	衣川衣原	約100戸
12月21日（月）18:48		
計		延べ約2,760戸

## イ 断水

江刺1件 衣川1件

(倒木影響の停電でポンプが停止した事による断水。いずれも現在は解消。)

## (4) 農業施設関係

単位:件

区分	ビニールハウス	格納庫	機械	その他	合計
水沢	10			1	11
江刺	14				14
前沢	12		3	1	16
胆沢	33	10	1	4	48
衣川	44	10			54
施設合計	113	20	4	6	143

※江刺地域は農家からの報告件数

## (5) 公共施設関係

単位:件

区分	小中学校	コミュニティ関連	産業系施設	幼保・こども園
水沢	5		1	1
江刺	4		1	1
前沢	1	2		1
胆沢	3	1	1	
衣川	1			
施設合計	14	3	3	3
主な被害内容	屋根雨樋の破損 樹木の枝折れ	屋根窓の破損 倒木	雨樋の破損 倒木	物置小屋倒壊 トイレの水漏れ
区分	幼児・児童施設	医療施設	庁舎等	消防屯所
水沢	1	3	1	
江刺	1			1
前沢				
胆沢				
衣川			2	
施設合計	2	3	3	1
主な被害内容	雨樋の破損 フェンスの破損	屋根の破損	雨樋の破損 樹木の枝折れ	雨樋の破損
区分	消防施設	公園施設	歴史的建造物	その他
水沢	1	10	7	4
江刺		3	1	4
前沢		4		1
胆沢	1		1	
衣川				1
施設合計	2	17	9	10
主な被害内容	除雪による消火 栓等の破損	倒木 水道管凍結	倒木 樹木の枝折れ	光ケーブルに枝 干渉
区分	合計			
水沢	34			
江刺	16			
前沢	9			
胆沢	7			
衣川	4			
合計	70			

## 3 令和2年度除雪の現状

	受託業者	除雪機械	路線数	延長	内車道延長	内歩道延長
合計	57 社	229 台	3,872 本	2,466km	2,240km	226km

## 4 除雪要望・苦情受付件数

12月14日（月）～12月23日（水）

	除 雪	融雪剤	施設損傷	倒 木	その他	計
合計	843	12	9	76	74	1,014

## 5 その他

(1) 障がい者、高齢者、生活保護世帯等から除排雪に関する問合せ 23 件

(2) その他要望等 3 件



## 令和2年度奥州市成人式の開催方式の変更について

全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大する中、11月に入っても感染者数が増え続けており、新成人を一堂に会して成人式を開催することで、さらなる感染拡大を招く恐れがあることから、令和2年度成人式は、参集しない形のWeb開催に変更しました。

### 1 開催形式変更の理由

- ・国の新型コロナウイルス感染症対策分科会からの政府への提言（令和2年12月11日）において、①忘年会・新年会・帰省と併せて成人式がとりあげられ、参加人数を抑制することや式典後の飲食を控えるよう注意喚起されている ②ステージⅢ相当の地域（東京、大阪、北海道等）においては、成人式はオンライン開催とすることや帰省の延期を求められており、その地域から新成人を集めることで感染リスクが増す恐れがある。
- ・岩手県及び奥州市においても、感染拡大地域との往来を慎重に判断するように県民及び市民へお願いしている。
- ・政府は年末年始の感染抑止のため、GoToトラベルを1月11日まで全国一斉に停止する。
- ・上記により、**新成人、新成人のご家族、市民の健康と安全を守る観点から、感染リスクのないWeb配信による開催に変更します。**

### 2 Web配信、その他催しの概要（検討中）

- (1) 1月10日（日）に下記内容をWeb上で視聴できるように配信します。

#### 式典形式

- ・市長式辞
- ・来賓祝辞（市議会議長）
- ・新成人誓いのことば

#### 記念行事

- ・新成人企画「未来へ翔る君たちへ」（中学恩師からのビデオメッセージ）
- ・記念行事「家族からの手紙」（新成人家族による手紙朗読を録画したもの）

※視聴期間は当初の開催予定日時から1週間程度

- (2) 「家族からの手紙」の郵送

事前にお預かりしている「家族からの手紙」を、成人式当日（1/10）までに新成人へ郵送します。

- (3) 記念品の贈呈（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

新成人（対象者）へお祝いの記念品を贈呈します。（1月中旬発送）

- (4) フォトスポットを設置

新成人の個々の記念写真撮影用として、各地域などにフォトスポットを設置します。

その他の催し物等は成人式実行委員会委員とともに検討してまいります。

### 3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（主なもの）

		金額 (単位:千円)	摘 要
1	07-02 報償品費	2, 7 0 6	新成人への記念品 @2,000円×1.10×1,230人
2	11-01 通信運搬費	1 9 4	開催方法変更、家族からの手紙送付用郵券代 @63円×1,230枚=77,490円 @94円×1,230枚=115,620円
3	11-04 手数料	1 2 7	フォトスポット用看板作成手数料 @11,500円×1.10×10カ所=126,500円
4	12-00 委託料	3 2 7	W e b 配信業務委託料 326,700円
	合 計	3, 3 5 4	

上記のほか、式典開催経費等は当初予算で措置している01.10.05.02.05.01成人式開催経費から支出いたします。

### 4 他市の状況

	成人式の開催方針	備 考
平泉町	来年度に延期	21年度の新成人とは別日程
西和賀町	来夏に延期	2カ年分、開催（同日、2回開催）
北上市	開催方法の変更	お祝いメッセージの配信等あり
花巻市	開催方法の変更	W e b 開催、フォトスポット設置
金ケ崎町	来年度に延期	
一関市	参集せず。開催方法を検討中	開催方法、内容を検討中

忘年会・新年会・成人式等及び帰省についての提言

令和2年12月11日（金）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

（抜粋）

2 成人式

成人式は、多くの新成人が久しぶりに地元が集まる機会です。しかし、この機会は「三密」や「感染リスクが高まる「5つの場面（①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり）」が生じやすい機会でもあります。主催者や参加者には、次の点について注意喚起をお願いします。

①主催者の方へ

- ・ 参加人数の制限
- ・ 会場での飲食を控えることの徹底
- ・ 会場での感染防止策の徹底（マスクの着用、手指消毒など）

②参加者の方へ

- ・ 体調が悪い人は参加しないこと
- ・ 会場やその周囲では密集をしないこと
- ・ 式典の前後には飲食を控えること
- ・ 仮に飲食をする場合には、忘年会、新年会の工夫を参照すること。

※ステージⅢ相当の対策が必要となる地域のみなさんへ

ステージⅢ相当の対策が必要となる地域では、さらに対策を徹底するため、全国の皆さんにお願いした前述の内容から一步踏み込んだ工夫をお願いしたいと思います。

- ・ 「成人式等」は、主催者はオンラインを活用した形での開催や開催時期、時間の分散化等、あり方については慎重に検討すること。
- ・ 「年末年始の帰省」は、時期の分散のみならず延期も含め慎重に検討すること。

岩手県における感染防止対策

1 感染が拡大している地域との往来については、慎重に判断するようお願いします。

- ・ 感染が拡大している地域・・・北海道、東京、大阪など
- ・ 不要不急の往来や外出の自粛をお願いしている地域

札幌市、東京都、神奈川県、大阪府など



## 過疎法見直しの影響について

### 1 概要

現行過疎法は、平成12年に制定されて以来、3度に渡り過疎要件が追加されてきました。また、合併前の過疎地域であった旧市町村を引き続き過疎地域とみなす“一部過疎”などの特例が設けられています。

令和3年3月末で現行過疎法の期限が到来しようとする中、過疎法の見直しについて与党等において議論が行われています。現在、与党内で検討されている案によると、主な変更点として、過疎指定の人口要件に係る基準年が昭和35年から昭和50年に見直されることや、平成の合併前の旧市町村単位で要件を満たした場合には、これまで指定となっていない地域でも新たに一部過疎とすることなどが検討されています。

### 2 本市への影響の確認

与党検討案を基に本市への影響を確認したところ、現在、一部過疎となっている江刺地域(旧江刺市)については、人口要件を満たさず、過疎地域の指定から外れる可能性があります。

過疎地域ではない衣川地域(旧衣川村)については、人口要件を満たすことから、新たに指定される可能性があります。

### 3 今年度の過疎関係要望活動

- 6月10日 県過疎地域自立促進協議会による関係中央省庁政務三役及び県選出国会議員への要望
- 7月28日 全国過疎地域自立促進連盟による自民党及び公明党、総務省への要望
- 8月7日 本市による県統一要望(市長)
- 9月24日 本市による自民党県連、県選出立憲民主党国会議員及び希望いわてへの要望(市長)
- 11月11日 県市長会による県選出国会議員との行政懇談会要望(市長)
- 11月12日 全国市長会による内閣官房長官、自民党及び公明党等への要望
- 11月20日 本市による県選出国会議員への要望(副市長)
- 同日 県過疎地域自立促進協議会による県選出国会議員への要望
- 同日 全国市長会過疎関係都市連絡協議会並びに全国過疎地域自立促進連盟による自民党及び公明党、総務省への要望
- 12月24日 本市による県選出国会議員等への要望(市長)

### 4 今後の対応

今後、鋭意情報収集に努め、要望活動を継続してまいります。

(案)

「今後の過疎対策の施策大綱案」のポイント

令和2年●月●日  
自由民主党政務調査会  
過疎対策特別委員会

1 過疎新法

社会情勢の新たな変化(①人口減少・少子高齢化の加速、②東京一極集中の加速、③過疎地域の可能性を広げる新たな潮流)とポストコロナ社会を見据え、過疎地域の持続的発展という新たな理念のもと、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」(案)を制定

2 過疎地域の指定要件・経過措置

地方の意見を十分に踏まえつつ、今後とも必要となる過疎対策を見据えて見直しを実施  
見直し点は以下のとおり(具体的な過疎地域の指定要件は別紙のとおり)

(1) 今後の過疎対策を見据えた基準年の見直し

- ・人口減少率(長期)の基準年について、昭和35年から既に60年経過していることから、今後の過疎対策を見据え、地方圏からの人口流出がいったん収束した昭和50年に見直し
- ・激変緩和のため、現行法に基づく過疎地域について、法制定時(令和3年4月)に限り、昭和35年を併用

(2) 市町村の実態を踏まえた平成の合併による合併市町村の特例

- ・各地域の課題についてきめ細かく支援できるよう、人口要件及び財政力要件を満たす合併前の市町村の区域を過疎地域に(「一部過疎」)
- ・「一部過疎」の財政力要件は、平成の合併による市・町・村の構成比の変化等を踏まえ、財政力指数を市町村平均(0.51)以下ではなく市平均(0.64)以下に設定
- ・現行法に基づく「全部過疎」又は「みなし過疎」については、平成の合併後、十数年間、市町村全体で過疎対策事業に取り組んできたことを踏まえ、「みなし過疎」を適用

(3) 財政力が低い市町村への目配り

- ・財政力が低い市町村(財政力指数が町村平均(0.40)以下)について昭和50年を基準年とする人口減少率の基準値を5ポイント緩和(▲28%→▲23%)

(4) 卒業団体に対する手厚い経過措置

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、過疎債の経過措置について1年延長(6年間)
- ・財政力が低い卒業団体については、さらに1年延長(7年間)

【過疎市町村数(試算)】

817市町村(現在) → ほぼ横ばい(卒業40台半ば程度、新規40台後半程度)

(参考)現行過疎法制定時(H12) 卒業101、新規42  
活性化特別措置法制定時(H2) 卒業103、新規89

### 3 重点分野

①人材、②雇用、③通信・デジタル化・新技術、④生活環境、⑤インフラ、⑥集落、⑦景観・文化、⑧連携に重点を置いた対策を推進

### 4 支援措置

#### (1) 国庫補助

統合小中学校等に対する補助率のかさ上げのほか、各種支援措置の充実を検討

#### (2) 過疎対策事業債

上水道事業に統合した旧簡易水道事業や、立地が困難な地域に存在する民間医療機関に対する補助といった過疎市町村の要望を踏まえた対象事業の見直し等を検討

#### (3) 税制措置

製造業、旅館業、農林水産物等販売業を対象とする特例措置について、対象業種の拡充、取得価額要件の引下げ、割増償却への移行等を検討

#### (4) 過疎計画

過疎計画の内容について、目標の設定、フォローアップ等を充実

#### (5) その他の各種支援措置

- ・都道府県が過疎市町村に人材面での支援をする場合の国の財政支援措置を検討
- ・市町村道等の都道府県代行制度における市町村負担金の取扱いを明確化
- ・過疎地域における規制緩和を推進

#### (6) 主務大臣

総務大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣に加え、過疎計画等に係る主務大臣に文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣及び環境大臣を追加

### 5 その他

#### (1) 過疎新法の期間

10 年間(令和 13 年 3 月まで)

#### (2) 過疎新法制定後の市町村合併

合併前の過疎地域を一部過疎として支援

#### (3) 今後の国勢調査結果の反映

令和2年及び令和7年国勢調査の結果が公表された場合、過疎地域を追加



# 新法における過疎地域の要件（案）

## 1. 全部過疎（人口要件（長期①、長期②、中期のいずれか）、かつ、財政力要件を満たす）

種類	指標	基本的な要件		基準年の見直しに伴う 激変緩和措置※2	
		期間	基準値	期間	基準値
人口要件（長期①） ・25年間の人口増加率10%以上除く	人口減少率 （長期）	S50→H27 （40年間）	人口減少団体平均 （28%以上減少※1）	S35→H27 （55年間）	人口減少団体平均 （40%以上減少）
人口要件（長期②）  ・高齢者比率又は若年者比率を満たす場合、人口減少率の基準値を緩和 ・25年間の人口増加率10%以上除く	高齢者比率	H27	同上（35%以上）	H27	同上（35%以上）
	若年者比率	H27	同上（11%以下）	H27	同上（11%以下）
	人口減少率 （長期）	S50→H27 （40年間）	23%以上減少	S35→H27 （55年間）	30%以上減少
人口要件（中期）	人口減少率 （中期）	H2→H27 （25年間）	人口減少団体平均 （21%以上減少）		
財政力要件 ・公営競技収益40億円超除く	財政力指数	H29～R元	全市町村平均 （0.51以下）	R29～R元	全市町村平均 （0.51以下）

※1 財政力指数が全町村平均(0.40)以下の場合、「23%以上減少」に緩和(財政力が低い市町村の要件)

※2 基準年の見直しに伴う激変緩和措置は、現行法の過疎地域に限り適用。R2、R7国調による過疎地域の追加の際は激変緩和措置は設けない。

## 2. 法制定前の市町村合併（平成11年4月以降）に係る一部過疎、みなし過疎

種類	単位	要件
一部過疎	合併前の旧市町村	・旧市町村単位で上記の人口要件のいずれかを満たす ・現在の市町村が財政力要件(財政力指数が全市平均(0.64)以下)を満たす
みなし過疎	合併後の新市町村	・現行法で全部過疎又はみなし過疎である市町村について、下記のいずれも満たす 【規模要件】 一部過疎区域の人口が1/3以上又は面積が1/2以上 【人口要件】 市町村の人口が長期(40年間、55年間)、中期(25年間)いずれも減少 【財政力要件】 市町村の財政力指数が0.51以下

# 新法における過疎地域の要件（案）による分析

- 1 令和2年12月11日自民党過疎対策特別委員会、並びに、同12月16日公明党過疎地に関するPT・総務部会合同会議資料により、引き続き奥州市が一部過疎に該当するかを分析

対象地域	人口要件 (長期①、長期②、中期のいずれか1つ該当すれば充足)				財政力要件
	長期①	長期②		中期	財政力 指数 H29-R元 3か年平均 <b>0.64以下</b>
	S50→H27 人口減少率 <b>28%以上</b>	人口減少率 <b>23%以上</b> かつ H27 高齢者比率 <b>35%以上</b> または H27 若年者比率 <b>11%以下</b>		H2→H27 人口減少率 <b>21%以上</b>	
水沢	△9.0%	29.8%	12.5%	2.0%	<b>0.43</b>
江刺	20.6%	34.9%	11.2%	16.2%	
前沢	13.3%	34.7%	10.6%	13.3%	
胆沢	8.7%	33.4%	11.2%	14.1%	
衣川	21.4%	35.4%	11.0%	<b>23.2%</b>	

- 2 現行法に基づく過疎地域である江刺地域（旧江刺市）が、激変緩和措置に該当するかを分析

対象地域	人口要件(長期①、長期②のいずれか1つ該当すれば充足)				財政力要件
	長期①	長期②			財政力 指数 H29-R元 3か年平均 <b>0.64以下</b>
	S35→H27 人口減少率 <b>40%以上</b>	人口減少率 <b>30%以上</b> かつ			
		H27 高齢者比率 <b>35%以上</b>	または H27 若年者比率 <b>11%以下</b>		
江刺	39.1%	34.9%	11.2%		<b>0.43</b>